

鳥取県立博物館 通常展

とっとり藩と城

歴史・自然史
美術工芸

第6期

令和8年

■会期 / 3月18日(水)～5月10日(日) 9時～17時 (入館は閉館30分前まで)

(休館日 3月23日(月)・30日(月)・4月6日(月)・27日(月))

■会場 / 鳥取県立博物館 1階展示活動室 三ノ蔵

入館料

(通常入館料)

一般 / 180円

(20名以上の団体150円)

※大学生以下70歳以上、
学校教育活動での引率等、
障がいのある方、障害者の方、
要介護者等及びその介護者は無料
※企画展観覧者は当日に限り無料



藩と城の謎は
必ず解き明かす！

鳥取県立博物館
〒660-0001 鳥取県鳥取市東町2丁目124番地
TEL 0857-26-8042 FAX 0857-26-8041



とっとり藩と城

歴史・自然史・美術工芸



池田忠経画像 江戸前廻 (当館蔵)
鳥取池田家初代池田光仲の伯父で岡山藩主池田忠雄の肖像



ヒサマツミドリシジミ (当館蔵) 久松山ではじめて確認された蝶



金鍍革包胸取二枚胴 (池田仲律所用) (鳥取東照宮蔵)
寛永8代藩主池田仲律所用の具足

令和7年(2025)3月、美術部門が分離独立、倉吉市に鳥取県立美術館として開館し、同年5月、鳥取県立博物館は自然史、歴史、民俗、美術工芸の総合博物館として新たな歩みをはじめることになりました。

新たなスタートを切る当館では、旧美術展示室を模様替えし、新たに鳥取の歴史・自然を象徴し、当施設が立地する国史跡「鳥取城跡」とその城山である「久松山」を核とした、歴史・自然史・美術工芸の総合的な企画展示「とっとなりの藩と城」を開催します。

展示では、鳥取県の発展の礎となった鳥取藩や鳥取城の歴史や文化、またその背景について、国内屈指の大家文書である“鳥取藩政資料”や旧藩主池田家ゆかりの大家道具、絵画、やきものなど多彩な美術工芸品を用いてわかりやすく紹介するとともに、久松山の地質や生物相を事例に、鳥取県の自然史についても紹介します。



鳥取御城全図 江戸前廻 (当館蔵) 鳥取城の非常警備のための図



赤地宝文錦筒守 (当館蔵)
鳥取藩の経者の禰礼道具のひとつ

次の通り展示替えします。

会 期	期 間
令和8年度 第6期 (木曜)	3/18(水)~5/10(日)
第7期	5/20(水)~7/20(月・祝)
第8期	7/29(水)~9/27(日)
第9期	10/7(水)~12/6(日)

これ以降の予定はHPでご案内します



鳥取県立博物館
TOTTORI PREFECTURAL MUSEUM

- JR鳥取駅からバスで
- 3100円バス「くる製」線コース「鳥仁屋前・鳥立博物館」下車すぐ
- 赤い丸のバス「鳥取城跡」下車すぐ
- 6分車・岡山・笠置方面行「西町」下車、約400m
- JR鳥取駅からタクシーで、約10分
- 鳥取砂丘コンクリートセンターから「鳥取銀行通称バス」西町下車、約3400m
- 台車で「鳥取自動車通」鳥取ICから鳥取ICより約15分
- 当館駐車場の駐車可能車種をなるべく交通機関をご利用下さい。